

七月七日は七夕の日



7月の大きな行事は何と言っても七夕です。今年は壁に大きな紙を貼って笹を表現して、短冊を皆さんにかいていただきました。皆さまご自身の健康のことやご家族のことをお願いしているのですが…なにになに「車が欲しい?」「恋人が欲しい?」これは入所者様のお願いではないですね。スタッフが書いた願い事でした。(笑)
それでも大切な願い事が叶いますようお祈りしました。

八月十三日の流れ星

先月七日は残念ながら雨で天の川は見れませんでした。今月十三日はペルセウス座流星群が見られます。流れ星と言えば「願い事を3回唱えれば叶う」と言われています。流れ星が輝く時間は一瞬でとても難しいですが、沢山流れるので長く輝く流星もあるかもしれません。十二日深夜から十三日明け方までお空を見上げましょう。



機能訓練指導員 阿部敏丈



平成30年8月号

社会福祉法人 晃和会
〒813-0043
福岡市東区名島3丁目52番5号
TEL 092-673-1800
FAX 092-673-2626

デイサービスセンター名島



7月のおやつ作りでは、「クッキー作り」を致しました。利用者様には材料を混ぜたり、チョコチップを載せたりする作業をして頂きました。今回は、生地が柔らかく、型抜きができずに、ビニールに入れて絞りました。焼き上がると、問題なく美味しく皆様にも食べて頂きました。利用者様一丸となって作るおやつ作りは、レクリエーションの中でも人気があります。特に女性は、材料を混ぜる手付きも手慣れたもので、「こうしたほうがいい」とアドバイスをくださることもあります。これからも、皆様に楽しめるレクリエーションを考えて参りたいと思いますので、宜しくお願い致します。



生活相談員: 木村・市川・満生

絵本の魅力



草木の緑も一段と濃くなってきましたが、皆様お健やかに過ごしのことと存じます。

さて、現在「ペーパーレス」という社会的な動きから、出版業界は不況と言われていています。しかし絵本はその動きに左右されず売れているそうです。

2017年、1年間に国内で出版された書籍と雑誌の売上高は1兆6000億円を割り込む程度なのですが、これは市場規模がピークだった1996年の2兆6563億円の6割を下回る水準だそうです。そのなかで絵本が比較的売れてるそうです。理由は3つあります。

①子供は減っているが子供一人あたりにかける教育費はそんなに減っていない。

②学校や図書館で最低限度の数は買い支えられている。

③大手が参入して、出版点数が増えている。

そんな絵本業界で私の好きな作品が左側にある物語2点です。

「はるになったら」は赤ちゃんの弟に小さなお姉ちゃんがするいくつものお約束を描いています。

「おさんぼ」は女の子が散歩で出会う動物達に頼みごとを聞くお話です。どちらも可愛いらしい絵が特徴で人気もありますが、残念ながら絶版という状態です。



最後に絵本を使った「絵本セラピー」というものをご紹介します。絵本セラピーとは絵本の力を借りて、その人のありのままを自然に引き出す、大人のための「ふれあいと気づきの体験講座」です。

選び抜かれた簡潔な言葉と感情に直接届く絵は、耳と目から感覚に働きかけます。日頃、理論的・常識的な考え方を優先し、心で感じていることと外に表現する言葉があまり一致していない大人にとって、絵本セラピーはカウンセリングの理想的プロセスと同様の効果があると言われていています。この考えに共感しながら、私も言語聴覚士として心と言語機能に差のある方に絵本の力を借りて訓練をさせて頂いています。

機能訓練指導員 阿部敏文

新入職 職員紹介

7/17入職
経理事務
富松 美佐子

8/1入職
特養介護パート
新福 真理子

皆さんよろしくお願ひします。

